

別紙資料①ハッピー愛ランド・ケア講座初任者研修（第36期）時間数一覧

NO	科目・項目	時間			課題数
		計	通学	通信	
1	職務の理解	6:00	6:00	0:00	0
	① 多様なサービスの理解	3:00	3:00	0:00	0
	② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3:00	3:00	0:00	0
2	介護における尊厳の保持・自立支援	9:00	1:30	7:30	10
	① 人権と尊厳を支える介護	5:00	1:30	3:30	2
	② 自立に向けた介護	4:00	0:00	4:00	8
3	介護の基本	6:00	4:30	1:30	10
	① 介護職の役割、専門性と多職種との連携	3:00	2:30	0:30	6
	② 介護職の職業倫理	0:10	0:00	0:10	1
	③ 介護における安全確保とリスクマネジメント	2:20	2:00	0:20	1
	④ 介護職の安全	0:30	0:00	0:30	2
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9:00	7:00	2:00	10
	① 介護保険制度	3:00	2:30	0:30	4
	② 医療との連携とリハビリテーション	3:00	2:00	1:00	2
	③ 障がい者自立支援制度及び他制度	3:00	2:30	0:30	4
5	介護におけるコミュニケーション技術	6:00	3:30	2:30	9
	① 介護におけるコミュニケーション	3:00	2:00	1:00	6
	② 介護におけるチームのコミュニケーション	3:00	1:30	1:30	3
6	老化の理解	6:00	3:00	3:00	10
	① 老化に伴うこころからだの変化と日常	3:00	1:30	1:30	4
	② 高齢者と健康	3:00	1:30	1:30	6
7	認知症の理解	6:00	3:30	2:30	10
	① 認知症を取り巻く状況	3:00	2:30	0:30	2
	② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1:30	1:00	0:30	5
	③ 認知症に伴うこころと体の変化と日常生活	0:40	0:00	0:40	1
	④ 家族への支援	0:50	0:00	0:50	2
8	障がいの理解	3:00	2:30	0:30	9
	① 障がいの基礎的理解	1:40	1:30	0:10	2
	② 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1:10	1:00	0:10	5
	③ 家族の心理、かかわり支援の理解	0:10	0:00	0:10	2
9	こころとからだのしくみと生活支援技術	75:00:00	63:00:00	12:00:00	39
	① 介護の基本的な考え方	3:00	2:30	0:30	2
	② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	3:00	1:30	1:30	2
	③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	5:30	4:00	1:30	7
	④ 生活と家事	3:30	2:30	1:00	3
	⑤ 快適な居住環境整備と介護	4:00	3:00	1:00	3
	⑥ 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6:00	5:00	1:00	3
	⑦ 移動・移乗	13:00	12:30	0:30	3
	⑧ 食事	6:00	5:00	1:00	3
	⑨ 入浴、清潔保持	5:20	5:00	0:20	2
	⑩ 排泄	7:00	6:00	1:00	3
	⑪ 睡眠	5:20	5:00	0:20	2
	⑫ 死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末介護	3:20	2:30	0:50	3
	⑬ 介護過程の基礎的理解	5:00	3:30	1:30	3
	⑭ 総合生活支援技術演習	5:00	5:00	0:00	0
10	振り返り	4:00	4:00	0:00	—
	① 振り返り	2:30	2:30	0:00	—
	② 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	1:30	1:30	0:00	—
		130:00:00	98:30:00	31:30:00	107

シラバス(第36期)

社会福祉法人北信福祉会

科目名	1. 職務の理解(6時間)			
項目	時間数	通学 時間数	通信 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等
ねらい	・研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の社会生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるよう指導する。			
(1)多様なサービスの理解	3:00	3:00	0:00	<p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●研修課程全体の構成と各研修科目が相互に関連していることを意識させ、介護職の専門領域についてイメージできるようになる。 <p>《講義内容》</p> <ol style="list-style-type: none"> ①福祉サービスを支える基本理念の変遷に伴う支援の変化 ②高齢者、障害者の生活支援としてのサービスの概略 <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険外サービス ・障害者支援サービス ・その他のサービス ③介護保険サービスの開始から終結までのプロセス <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎サービスマップの作成 各グループで介護保険サービスの体系について図表化してみる。
(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解	3:00	3:00	0:00	<p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●介護職が働く現場や仕事の内容を理解する。 <p>《講義内容》</p> <ol style="list-style-type: none"> ①チームケアの実際と地域住民との関わりの必要性 ②居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容とサービス内容
合計	6:00	6:00	0:00	
使用する機器・備品等	①介護職員初任者研修テキスト(中央法規) ②介護職員初任者研修補助教材DVD			

シラバス(第36期)

社会福祉法人北信福祉会

科目名	2. 介護における尊厳の保持・自立支援(9時間)			
ねらい	・介護職が、利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という視点に立った支援を提供する上での基本的態度や視点およびやってはいけないことを理解させる。			
項目	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等
(1) 人権と尊厳を支える介護	5:00	1:30	3:30	<p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ケアを実践するための基本理念を学び、利用者や家族の要望にそのまま応えることと、自立支援・介護予防という考え方に基づいたケアを行うことの違いを理解する。 ●利用者の生活機能を高め、健康的な生活を営む上で必要なケアについて理解する。ICFの考え方に基づいたケアの在り方について学ぶ。 ●高齢者の虐待事例を通して虐待に対する基本的な考え方、対応について理解する。 <p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ①人権と尊厳を支える福祉理念とケアの実践手法 ・ノーマライゼーション ・自立支援とQOL ・ICFの考え方 ・虐待防止と身体拘束の禁止 <p>《演習》</p> <p>以下の2つの事例についてグループで話し合い、基本的な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎事例検討①（自立支援に基づいたケアの実践事例） ◎事例検討②（高齢者虐待事例） <p>『通信内容』</p> <ul style="list-style-type: none"> ①介護における権利擁護と人権尊重 ②QOLとは ③虐待防止・身体拘束禁止
(2) 自立に向けた介護	4:00	0:00	4:00	<p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●介護予防と重度化防止の視点について理解する。 <p>『通信内容』</p> <ul style="list-style-type: none"> ①介護職に求められる自立支援 ②介護予防の視点
合計	9:00	1:30	7:30	

使用する機器・備品等	①介護職員初任者研修テキスト(中央法規)
------------	----------------------

シラバス(第36期)

社会福祉法人北信福祉会

科目名	3. 介護の基本(6時間)			
ねらい	・介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、事例を通して職務におけるリスクと対応策について理解する。 ・介護を必要としている人の生活を支える上で、個別性に配慮することの必要性について理解する。			
項目	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等
(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	3:00	2:30	0:30	【達成目標】 ●家族による介護と専門職による介護の違いを知る。 ●介護職の基本的な役割と他職種との連携の必要性について知る。 《講義内容》 ①介護環境の特徴 ②介護の専門性 ③介護に関わる職種 《演習》 各グループで2つの事例について話し合う。 ◎事例検討①(施設ケアの実践事例) ◎事例検討②(居宅ケアの実践事例・チームケア関係図の作成) 『通信内容』 ①介護の専門性
(2) 介護職の職業倫理	0:10	0:00	0:10	【達成目標】 ●介護職が持つべき職業倫理について列挙できる。 『通信内容』 ①介護職に求められる行動規範
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	2:20	2:00	0:20	【達成目標】 ●介護職が実際の支援場面で遭遇しやすい事故や感染におけるリスクを知る。 《講義内容》 ①介護サービスを提供する上で必要な安全確保の視点 ②感染対策の基本 《演習》 ◎危険予知トレーニング 『通信内容』 ①介護における安全対策 ②感染対策の原則
(4) 介護職の安全	0:30	0:00	0:30	【達成目標】 ●介護職の健康管理の留意点とストレスマネジメントを学ぶ。 『通信内容』 ①介護における安全の確保 ②感染対策の原則
合計	6:00	4:30	1:30	

使用する機器・備品等	①介護職員初任者研修テキスト(中央法規)
------------	----------------------

シラバス(第36期)

社会福祉法人北信福祉会

科目名	4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携(9時間)			
ねらい	・介護保険制度や障がい者自立支援制度を担う介護職員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務についての概要を理解する。			
項目	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等
(1)介護保険制度	3:00	2:30	0:30	<p>【達成目標】</p> <p>●制度が創設された背景と理念、制度の概要について知る。</p> <p>《講義内容》</p> <p>①制度創設の背景、目的、動向</p> <p>②制度の仕組みの基礎的理解</p> <p>③ケアマネジメントの概要とサービスの種類・内容</p> <p>『通信内容』</p> <p>①保険給付までの流れ</p> <p>②国、都道府県、市町村の役割</p>
(2)医療との連携とリハビリテーション	3:00	2:00	1:00	<p>【達成目標】</p> <p>●医行為と介護、ICFに基づくリハビリテーションの実践について知る。</p> <p>《講義内容》</p> <p>①医行為に対する介護職の対応</p> <p>②リハビリテーション職種との連携</p> <p>《演習》</p> <p>◎事例検討① (ICFにもとづく実践)</p> <p>『通信内容』</p> <p>①介護職員等による痰の吸引等の取り扱い</p>
(3)障がい者自立支援制度及びその他制度	3:00	2:30	0:30	<p>【達成目標】</p> <p>●障がい者自立支援法の概要について知る。</p> <p>《講義内容》</p> <p>①障害者の自立と社会参加</p> <p>②制度創設の背景、目的、動向</p> <p>③制度の仕組みの基礎的理解</p> <p>『通信内容』</p> <p>①自立支援給付のサービスと利用者負担</p>
合計	9:00	7:00	2:00	

使用する機器・備品等	①介護職員初任者研修テキスト(中央法規)
------------	----------------------

シラバス(第36期)

社会福祉法人北信福社会

科目名	5. 介護におけるコミュニケーション技術(6時間)			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの基本(歪みと効果)について学び、コミュニケーションが相手に与える影響について理解する。 ・高齢者や障がい者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、個々に応じたコミュニケーションの大切さを認識し、取ってはならない行動例について理解する。 ・多職種によるチーム内のコミュニケーションの必要性和有効性について理解する。 			
項目	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等
(1)介護におけるコミュニケーション	3:00	2:00	1:00	<p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●共感、受容、傾聴的態度、気づきなど基本的コミュニケーションのポイントを知る。 ●介護職における相談援助技術について知る。 <p>《講義内容》</p> <ol style="list-style-type: none"> ①コミュニケーションにおける意義、目的、役割 <ul style="list-style-type: none"> ・相手の能力に応じた配慮 ・傾聴、共感の応答 ②コミュニケーションの技法 ③利用者、家族とのコミュニケーションの実際 ④利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの実際 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎コミュニケーションの基本的理解 ◎コミュニケーション技法 ◎事例検討（認知症高齢者とのコミュニケーション） <p>『通信内容』</p> <ol style="list-style-type: none"> ①効果的なコミュニケーションの基本 ②障害の特性に応じた具体的な対応
(2)介護におけるチームのコミュニケーション	3:00	1:30	1:30	<p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●チームのコミュニケーションを促進するために活用できる手段について知る。 <p>《講義内容》</p> <ol style="list-style-type: none"> ①記録における情報の共有化 ②報告・連絡・相談 ③コミュニケーションを促す環境 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎事例をもとに個別援助計画の作成をグループで話し合う。 <p>『通信内容』</p> <ol style="list-style-type: none"> ①記録の書き方と留意点 ②報告・連絡・相談の必要性
合計	6:00	3:30	2:30	

使用する機器・備品等	①介護職員初任者研修テキスト(中央法規)
------------	----------------------

シラバス(第36期)

社会福祉法人北信福祉会

科目名	6. 老化の理解(6時間)			
ねらい	・加齢、老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習しなければならない事項について理解する。			
項目	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等
(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常	3:00	1:30	1:30	<p>【達成目標】</p> <p>● 老化の理解を通して、高齢者の介護における基本的な留意点を知る。</p> <p>《講義内容》</p> <p>① 老化の特徴 ② バイタルサイン</p> <p>③ 老化による日常生活への影響</p> <p>《演習》</p> <p>◎ 老化による日常生活への影響を改善する方法についてグループで話し合う。</p> <p>『通信内容』</p> <p>① 老化に伴う心身の変化の特徴</p> <p>② 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響</p>
(2) 高齢者と健康	3:00	1:30	1:30	<p>【達成目標】</p> <p>● 高齢者に多い疾病の種類と、その症状や特徴ならびに生活上の留意点について知る。</p> <p>《講義内容》</p> <p>① 高齢者の疾病と生活上の留意点</p> <p>② 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点</p> <p>《演習》</p> <p>◎ 一つの疾患を取り上げ留意点と対応方法についてグループで話し合う。</p> <p>『通信内容』</p> <p>① 高齢者の疾病と日常生活上の留意点</p>
合計	6:00	3:00	3:00	
使用する機器・備品等	① 介護職員初任者研修テキスト(中央法規)			

シラバス(第36期)

社会福祉法人北信福祉会

科目名	7. 認知症の理解(6時間)			
ねらい	・介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解する。			
項目	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等
(1) 認知症を取り巻く状況	3:00	2:30	0:30	<p>【達成目標】</p> <p>●認知症高齢者の行動の意味を探り、残された能力や意欲に着目して共感的な姿勢で関わるケアについて知る。</p> <p>《講義内容》</p> <p>①認知症ケアの理念 ②認知症ケアの視点</p> <p>《演習》</p> <p>各グループで事例についてどのように関わるか話し合う。</p> <p>◎事例検討 周辺症状に対する対応の実際</p> <p>『通信内容』</p> <p>①認知症利用者との関わり方の基本 等</p>
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1:30	1:00	0:30	<p>【達成目標】</p> <p>●認知症の概念と原因疾患、病態について知る。</p> <p>《講義内容》</p> <p>①認知症の原因となる主な疾患と治療方法</p> <p>②認知症による障害、心理・行動の特徴</p> <p>『通信内容』</p> <p>①アルツハイマー型認知症の症状と特徴 等</p>
(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	0:40	0:00	0:40	<p>【達成目標】</p> <p>●認知症高齢者に対する介護職員としての基本的なケア方法について知る。</p> <p>『通信内容』</p> <p>①認知症と生活環境</p>
(4) 家族への支援	0:50	0:00	0:50	<p>【達成目標】</p> <p>●認知症高齢者を支える家族への支援を学び、家族の思いを知り、介護職員としてどのように支援できるか考えられる。</p> <p>《講義内容》</p> <p>①家族の機能の再構築のための支援</p> <p>『通信内容』</p> <p>①家族の介護負担を軽減する方法</p> <p>②家族へのレスパイトケア</p>
合計	6:00	3:30	2:30	

使用する機器・備品等

①介護職員初任者研修テキスト(中央法規)

シラバス(第36期)

社会福祉法人北信福祉会

科目名	8. 障がいの理解(3時間)			
ねらい	・障がいの概念とICF、障がい者福祉の基本的考え方について理解し、支援の原則を知る。			
項目	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等
(1) 障がいの基礎的理解	1:40	1:30	0:10	【達成目標】 ●障がいの概念、障がい者を支える制度や仕組みについて学習し、障がいに関する基礎的な意識を知る。 《講義内容》 ①障害の概念 ②障がい者福祉の基本理念 『通信内容』 ①国際生活機能分類の特徴
(2) 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識	1:10	1:00	0:10	【達成目標】 ●各々の疾患や症状と介護における留意点について知る。 《講義内容》 ①障がいの種類 ②障がい者への介護の留意点 『通信内容』 ①中途障がい者の心理的プロセス
(3) 家族の心理、かかり支援の理解	0:10	0:00	0:10	【達成目標】 ●家族の心理や障がいの受容について学習し、家族に寄り添うことの大切さなどの支援の留意点を知る。 《講義内容》 ①家族自身の社会参加と自己実現への支援 ②家族会の活用 『通信内容』 ①家族の理解と障がいの受容支援
合計	3:00	2:30	0:30	

使用する機器・備品等	①介護職員初任者研修テキスト(中央法規)
------------	----------------------

シラバス(第36期)

社会福祉法人北信福祉会

科目名	9. ころとからだのしくみと生活支援技術 (総合計 75:00 時間)			
ねらい	・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識と、利用者の力を奪わずに安全に介護サービスを提供する方法について学習する。			
項目	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等
(1)介護の基本的な考え方	3:00	2:30	0:30	<p>【達成目標】</p> <p>●介護の理念や法的根拠、理論に基づいた介護を利用者主体にどのように行うことができるのか知る。</p> <p>《講義内容》</p> <p>①介護に関する専門的知識と技術の必要性 ②ICFに基づく生活の支援 ③生活の質を高める支援 ④医療との連携</p> <p>《演習》各グループで以下の事例について話し合う。 ◎事例検討 ①生活の質を高める支援 ②医療との連携</p> <p>『通信内容』</p> <p>①介護の見方・考え方の変化 ②法的根拠に基づく介護</p>
(2)介護に関するころのしくみの基礎的知識	3:00	1:30	1:30	<p>【達成目標】</p> <p>●人のころの動きや変化を理解し、記憶や感情のメカニズム、老化や障がいの受容、適応について学習し、尊厳を守る介護をどのように提供しなければならないか知る。</p> <p>《講義内容》</p> <p>①記憶のメカニズム ②感情・意欲・生きがい</p> <p>《演習》</p> <p>各グループで以下の事例について話し合う。 ◎事例検討 意欲を引き出す働きかけ</p> <p>『通信内容』</p> <p>①記憶のしくみと意欲のしくみ ②要介護状態と高齢者の心理</p>
(3)介護に関するからだのしくみの基礎的知識	5:30	4:00	1:30	<p>【達成目標】</p> <p>●人体各部の名称、動きに関する基礎知識を学び、ころとからだを一体的に捉え支援を展開できるように理解を深める。</p> <p>《講義内容》</p> <p>①人体各部の名称、動きに関する基礎知識 ②健康チェックとバイタルサイン</p> <p>《演習》</p> <p>◎基本的な健康チェックの方法</p> <p>『通信内容』</p> <p>①ボディメカニクスの基本原理 ②中枢神経と末梢神経</p>
合計	11:30	8:00	3:30	

使用する機器・備品等	①介護職員初任者研修テキスト(中央法規)
------------	----------------------

シラバス(第36期)

社会福祉法人北信福祉会

科目名	9. こころとからだのしくみと生活支援技術			
ねらい	・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識と、利用者の力を奪わずに安全に介護サービスを提供する方法について 学習する。			
項目	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等
(4) 生活と家事	3:30	2:30	1:00	<p>【達成目標】</p> <p>●利用者一人一人の暮らし方の多様性を知り、生活習慣を尊重した介護をどのように行うことができるのか知る。</p> <p>《講義内容》</p> <p>①生活の捉え方と暮らし方の多様性 ②家事援助の基礎知識と生活支援</p> <p>《演習》</p> <p>各グループで以下の事例について話し合う。 ◎事例検討① 主体制を尊重した家事の援助 ◎事例検討② 自立支援につながる家事の援助</p> <p>『通信内容』</p> <p>①生活と家事の理解</p>
(5) 快適な居住環境整備と介護	4:00	3:00	1:00	<p>【達成目標】</p> <p>●高齢者・障がい者に特有の居住環境の整備と福祉用具に関する留意点と支援方法について知る。</p> <p>《講義内容》</p> <p>①快適な居住環境の在り方 ②福祉用具に関する留意点と活用方法 ③住宅改修</p> <p>《実技》</p> <p>◎福祉用具の使用方法</p> <p>『通信内容』</p> <p>①快適な居住環境に関する基礎知識</p>
(6) 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6:00	5:00	1:00	<p>【達成目標】</p> <p>●整容の意義を学び、その人らしく身だしなみを整えるための支援のポイントと留意点を知る。</p> <p>《講義内容》</p> <p>①身支度の意義と目的 ②整容の支援技術</p> <p>《実技》</p> <p>◎衣服の着脱</p> <p>『通信内容』</p> <p>①自立生活を支える身じたくの介護</p>
合計	13:30	10:30	3:00	

使用する機器・備品等	①介護職員初任者研修テキスト(中央法規)
------------	----------------------

シラバス(第36期)

社会福祉法人北信福祉会

科目名	9. こころとからだのしくみと生活支援技術			
ねらい	・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識と、利用者の力を奪わずに安全に介護サービスを提供する方法について学習する。			
項目	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等
(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	13:00	12:30	0:30	<p>【達成目標】</p> <p>●利用者個々の残存能力活かした自立支援につながる移動・移乗の具体的な方法について知る。</p> <p>《講義内容》</p> <p>①移動・移乗に関する基礎知識 ②移動・移乗の介護の具体的な方法</p> <p>《実技》</p> <p>◎移動介助(車いす・歩行器・杖歩行者の介助) ◎移乗介助(車いす・ベッド・トイレへの移乗の介助)</p> <p>『通信内容』</p> <p>①体位変換を行う際の留意点 ②残存能力の活用と自立支援</p>
(8)食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6:00	5:00	1:00	<p>【達成目標】</p> <p>●生活における食事の意味と食事摂取の仕組みを理解することにより、様々な状態像に応じた食事介護の方法について知る。</p> <p>《講義内容》</p> <p>①食事に関する基礎知識 ②食事環境の整備と用具の活用方法 ③状態に応じた介護方法</p> <p>《実技》</p> <p>◎食事介助(ベッド上での介助)</p> <p>『通信内容』</p> <p>①摂食と嚥下の5分類 ②美味しく食べるための支援</p>
(9)入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	5:20	5:00	0:20	<p>【達成目標】</p> <p>●入浴、清潔の意味と入浴環境の整備と介助の方法並びに清拭介助の方法について知る。</p> <p>《講義内容》</p> <p>①入浴と清潔保持に関する基礎知識 ②用具の活用方法</p> <p>《実技》</p> <p>◎片マヒ者の入浴介助 ◎全身清拭、足浴の介助</p> <p>『通信内容』</p> <p>①入浴が効果的な理由 ②入浴介助の方法</p>
合計	24:20:00	22:30:00	1:50	
使用する機器・備品等	①介護職員初任者研修テキスト(中央法規)			

シラバス(第36期)

社会福祉法人北信福祉会

科目名	9. こころとからだのしくみと生活支援技術			
ねらい	・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識と、利用者の力を奪わずに安全に介護サービスを提供する方法について学習する。			
項目	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等
(10)排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7:00	6:00	1:00	<p>【達成目標】</p> <p>●排泄の意義とメカニズムを理解し、排泄環境の整備と用具の活用方法について学ぶことにより適切な介助の方法を知る。</p> <p>《講義内容》</p> <p>①排泄に関する基礎知識 ②排泄環境の整備と用具の活用方法</p> <p>③自尊心に配慮した排泄介助の方法</p> <p>《実技》</p> <p>◎排泄介助(トイレ介助・おむつ介助)</p> <p>『通信内容』</p> <p>①排泄に関連したこころのしくみ ②排泄介護の原則</p>
(11)睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	5:20	5:00	0:20	<p>【達成目標】</p> <p>●睡眠の仕組みを理解し、心地よい睡眠を得るために必要な環境の整備と支援の方法を知る。</p> <p>《講義内容》</p> <p>①睡眠に関する基礎知識 ②睡眠環境の整備と用具の活用方法</p> <p>③安眠のための介護方法</p> <p>《実技》</p> <p>◎安楽姿勢の確保のための介護方法</p> <p>◎褥創予防のための介護方法</p> <p>『通信内容』</p> <p>①安眠支援の援助の視点 ②睡眠薬を服用する際の注意点</p>
(12)死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末介護	3:20	2:30	0:50	<p>【達成目標】</p> <p>●終末期とはどのような状態なのかを理解し、終末期におけるケアの取り組みの実際を知る。</p> <p>《講義内容》</p> <p>①終末期に関する基礎知識 ②苦痛の少ない死への支援</p> <p>③介護従事者の基本的態度</p> <p>《演習》</p> <p>以下のテーマでグループ毎に話し合う。</p> <p>◎自分自身が望む終末期ケア</p> <p>『通信内容』</p> <p>①終末期における変化の特徴 ②死を受容するまでのプロセス</p>
合計	15:40	13:30	2:10	

使用する機器・備品等	①介護職員初任者研修テキスト(中央法規)
------------	----------------------

シラバス(第36期)

社会福祉法人北信福祉会

科目名	9. こころとからだのしくみと生活支援技術			
ねらい	・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識と、利用者の力を奪わずに安全に介護サービスを提供する方法について学習する。			
項目	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等
(13)介護過程の基礎的理解	5:00	3:30	1:30	<p>【達成目標】</p> <p>●介護過程の目的、意義、展開について理解し、介護過程におけるチームアプローチの方法を知る。</p> <p>《講義内容》</p> <p>①介護過程の目的と意義、展開</p> <p>②介護過程とチームアプローチ</p> <p>《演習》</p> <p>◎事例検討 認知症高齢者の在宅生活の支援</p> <p>『通信内容』</p> <p>①介護過程の展開</p> <p>②チームアプローチにおける介護職の役割</p>
(14)総合生活支援技術演習	5:00	5:00	0:00	<p>【達成目標】</p> <p>●いくつかの事例をもとに、介護過程のそれぞれのプロセスにおける取り組みについて確認し、適切な支援技術をどのように展開したらよいか話し合いを通して知る。</p> <p>《講義内容》</p> <p>①介護過程の基本的理解</p> <p>②介護過程の流れ</p> <p>③事例検討</p> <p>《演習》</p> <p>それぞれの介護過程における取り組みを確認しながら今後の支援の方向性について、各グループで話し合う。</p> <p>◎複数の異なる事例</p> <p>『通信内容』</p> <p>①生活を支援する流れ</p>
合計	10:00	8:30	1:30	

使用する機器・備品等	<p>①介護職員初任者研修テキスト(中央法規)</p> <p>②介護機器</p> <p>車いす・ベッド、シーツ・ポータブルトイレ・杖・体温計・血圧計・シャワーチェア・浴槽バスボード・差し込み便器・トランスファーボード・口腔ケア用スポンジ・各種紙おむつ</p> <p>手洗いチェッカー・食器・衣類・自助具・スリングシート・トロメリン・歩行器・移乗バー</p>
------------	--

シラバス(第36期)

社会福祉法人北信福祉会

科目名	10. 振り返り(4時間)			
ねらい	・研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認するとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識を図る。			
項目	時間数	通学時間数	通信時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等
(1) 振り返り	2:30	2:30	0:00	<p>【達成目標】</p> <p>●講義と演習を通じて、研修全体を振り返り、学んだことを再確認する。</p> <p>《講義内容》</p> <p>①研修を通して学んだこと</p> <p>②今後継続して学ぶべきこと</p> <p>③根拠に基づく介護についての要点</p> <p>《演習》</p> <p>◎研修を通じて学んだこと、今後継続して学ぶべきことについてグループディスカッションを行う。</p>
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	1:30	1:30	0:00	<p>【達成目標】</p> <p>●講義と演習を通じて、継続的に学ぶべき課題を把握することができる。</p> <p>《講義内容》</p> <p>①継続的に学ぶこと</p> <p>②研修修了後における継続的な研修について具体的にイメージできるように実例を紹介</p> <p>《演習》</p> <p>◎これからの介護の在り方、次のステップへの課題等についてグループディスカッションを行う。</p>
合計	4:00	4:00	0:00	

使用する機器・備品等	①介護職員初任者研修テキスト(中央法規)
------------	----------------------